

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	歯科医療安全管理体制推進特別事業			担当部局	医政局		作成責任者	
事業開始年度	平成20年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	歯科保健課		課長：鳥山 佳則	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成15年4月4日医政発第0404001号「歯科保健医療対策事業の実施について」			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	安全で安心な質の高い歯科医療提供体制の整備。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県が、市町村や歯科医師会、歯科衛生士会等に属する医療関係者と連携を図り、各地域の実情に応じた歯科医療の安全の確保について検討を行い、歯科医療の安全の確保のために実施する事業に対する財政支援を行う。 対象経費：給料、賃金、旅費、需用費等 補助率：定額							
実施方法	補助							
予算額・執行額 (単位：百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	250億円の内数	227億円の内数	151億円の内数	134億円の内数		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	0	0	0	0	0		
執行額	13	10	9					
執行率 (%)	-	-	-					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	歯科医療安全にかかる講習会を、歯科医療安全に係る取り組みを実施する都道府県毎に平均4回程度開催する。	歯科医療安全にかかる講習会の開催回数	成果実績	回	82	76	64	
			目標値	回	96	96	96	96
			達成度	%	85.4%	79.2%	66.7%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	歯科医療安全にかかる取り組み都道府県数	活動実績	都道府県	20	19	16		
		当初見込み	都道府県	24	24	24	24	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y		千円	660	542	550	520	
	X:「執行額(平成27年度は予算額)」 Y:「補助都道府県数」	計算式	X / Y	13,206 / 20	10,305 / 19	8,798 / 16	12,481 / 24	
平成27・28年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	医療提供体制推進事業費補助金	134億円の内数						
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	広く歯科医療安全の推進を目的としており、安心・安全な歯科医療の提供というニーズを反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	歯科医療安全の確保を図っていくためにも、引き続き国の施策として実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	歯科医療の安全の確保のために行う講習会であり、国民が安心して歯科医療を受けるためにも優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	交付要綱に補助対象等を定めており、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業計画書に必要経費を記載し、不要な経費があれば削除するよう指摘し、コスト削減に努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	各都道府県から事業計画書に必要経費を記載させ、事業目的に即したものが確認を行っている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		△	講習会の開催回数は過去3年間減少しており、経年的に実施する事業であると都道府県が判断しなかったものと推定される。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	経年的に実施する事業であると都道府県が判断しなかったためと推定される。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	当該事業に取り組む都道府県は平成24～26年度は下回ったが、歯科保健医療の安全確保については継続的に検討していく必要性があるという周知が不足していたためと思われる。持続的な安全確保のための重要な事業であることを、引き続き都道府県に周知して参りたい。			
	改善の方向性	事業の内容・規模・予算額等について精査し、適切な執行をして参りたい。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	67	平成23年度	57	平成24年度	024-17
平成25年度	004-17	平成26年度	004-17		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
9百万円

都道府県が実施する歯科医療安全管理体制推進特別事業に対する補助

【補助】

A. 都道府県(16)
9百万円
(補助額1位:群馬県他1県 0.7百万円)

歯科医療安全管理体制推進特別事業の実施

【随意契約・委託】

B. 一般社団法人群馬県歯科医師会
0.5百万円

歯科医療安全に関する研修会の実施

【随意契約・委託】

C. 特定非営利活動法人群馬県歯科衛生士会
0.1百万円

院内感染対策に関する研修会の実施

【随意契約・委託】

D. 公益社団法人群馬県歯科技工士会
0.1百万円

歯科技工に関する研修会の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

	計		0	計	0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	群馬県	歯科医療安全管理体制推進特別事業の実施	0.7	-	-
2	高知県	歯科医療安全管理体制推進特別事業の実施	0.7	-	-
3	石川県	歯科医療安全管理体制推進特別事業の実施	0.7	-	-
4	長野県	歯科医療安全管理体制推進特別事業の実施	0.7	-	-
5	青森県	歯科医療安全管理体制推進特別事業の実施	0.7	-	-
6	神奈川県	歯科医療安全管理体制推進特別事業の実施	0.7	-	-
7	大阪府	歯科医療安全管理体制推進特別事業の実施	0.7	-	-
8	岡山県	歯科医療安全管理体制推進特別事業の実施	0.6	-	-
9	徳島県	歯科医療安全管理体制推進特別事業の実施	0.6	-	-
10	北海道	歯科医療安全管理体制推進特別事業の実施	0.5	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人群馬県歯科医師会	歯科医療安全に関する研修会の実施	0.5	随意契約	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人群馬県歯科衛生士会	院内感染対策に関する研修会の実施	0.1	随意契約	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益社団法人群馬県歯科技工士会	歯科技工に関する研修会の実施	0.1	随意契約	-